

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	ぶりずむ		公表日 2026年 3月 20日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	・活動室の他に個別で過ごせる場所を用意し児童の体調に合わせて使用している。	・運動スペースが限られているので、身体を使った活動は近くの公園を利用することが多い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	・児童2名に対し職員1名の配置を基本として支援を行っている。	・障がい特性に対して研修の充実と障害特性の理解や統一した支援がもっと必要に感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	・活動室、読書スペース、個室と分かりやすく区切られている。 ・情報ボードが分かりやすい場所にある。	・情報ボードの数と情報量が多く戸惑うこともある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	・日々の整理整頓、清掃を行い清潔感を意識して活動している。	・静と動の活動にメリハリがあるとよい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・児童の体調に合わせた環境を整えている ・専門的支援を行う場所がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	・日々のミーティングや研修で振り返りや周知を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・放課後等デイサービス評価表に記載されている内容を基に、課題の周知と業務改善に取り組んでいる。	・評価表を基にした職員研修を実施していく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	・日々のミーティングや研修で振り返りや周知を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	・外部評価は行っていない。	・必要に応じて第三者委員会の検討を行う
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・毎月一回の社内研修を行っている。 ・必要に応じて外部研修へ参加を促している。	・コロナ以降、外部研修への参加を見送っていたが、リモート研修には時間帯が合えば参加したい。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	・法人ホームページで公表中	・社内研修で共有している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	・年2回以上の保護者面談を実施している ・児童に変化が見られた時、必要に応じてアセスメントを行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・年2回以上のアセスメントを全社員で実施共有している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・年度初めの全体研修で周知、共有し実行 ・記録用のボードに記載し、いつでも見れるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	・現状確認表を基に、児童の現状を把握し、専門的支援を行うことで確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	・児童の支援に必要な事項は、社内研修で共有し、実施している。 ・保護者との関わり方についても社内研修を実施している。	・社内研修等で放課後等デイサービスガイドラインの共有が出来るよう工夫していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・全体活動の立案を担当者が行い、ミーティングで共有し実施している。	

（援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・全体活動の立案を担当者が行い、ミーティングで共有し実施している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・専門的支援を実施することで、個別活動と集団活動の両方を取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・日々必ず支援前のミーティングを行い情報共有と送迎の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	5	・支援後のミーティングは時間が無いので職員間だけで課題や振り返りを行っている。	・次の日のミーティングで前日の振り返りを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・児童の個別ケア日誌に当日の様子を記録している。 ・日々の業務日報を作成している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・年2回以上のモニタリングを実施、見直しを行っている。 ・見直しが必要と感じた場合にもミーティングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	・集団活動や専門的支援、長期休暇の外出活動等、様々な活動を組み合わせ支援している。	・地域社会との交流や連携については、現状できていない。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	・集団活動や専門的支援、長期休暇の外出活動等、様々な活動を組み合わせ支援している。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・基本的には自発管が参加しているが、時には現場の状況に詳しい職員も参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	・サービス担当者会議等、参加の機会があれば積極的に連携し、支援体制を整えている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	・サービス担当者会議等、参加の機会があれば積極的に連携し、支援体制を整えている ・児童の下校時に情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1	・保護者からの聞き取りにより、必要性があると感じた時に連絡、情報共有を行っている	・必要性に関わらず情報共有は検討していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	・当事業所から別事業所へ移行する場合にはケース会議等で情報共有を行っている。 ・必要に応じて情報の提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	3	・必要に応じて児童の情報共有を行っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	6	・公園で他の児童と一緒にいることはあるが、交流までは行っていない。	・職員数に限りがあるため、交流の機会を作る事が難しい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	5	・時間帯や職員数に制限があるため、限られたところで参加している。	・職員の勤務時間外に開催されることが多く参加ができないことがある。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・児童の送迎時、施設へのお迎え時等に情報共有を行っている。	・ケア日誌をもう少し活用できるよう検討する。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4	・必要性に応じて相談を受け、一緒に考え共有した内容を実行している。 ・面談時に、家庭と事業所で統一した支援方法を考え実施している。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・保護者面談時や内容に変更があった場合に説明している。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・年2回以上の保護者面談を実施している ・児童の送迎時に情報共有を行っている。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	・年2回の保護者面談時に説明を行い同意を得ている。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・年2回以上の保護者面談を実施している ・必要に応じて相談を受け助言している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2	・年1回の保護者会を実施している。	・もう少し保護者との交流の機会を検討する ・きょうだい同士での交流の機会はない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・苦情対応マニュアルを整備し、迅速に対応できるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・通信紙の発行やブログを定期的に更新している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1	・社内研修で周知、マニュアルの整備を行っている。	・個人用のシフト管理については、検討が必要。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・利用日のケア日誌で情報共有、送迎時の申し送りでコミュニケーションを取っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	・事業所内で地域住民を招待するほどの行事は行っていない。	・事業所の規模が小さいため困難
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2	・各マニュアル作成を行い、職員の新人研修時、新規利用児童の契約時に伝えている。 ・社内研修にて各訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・業務継続計画書を策定し、社内研修にて各訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	・新規契約時に聞き取りを行っている。 ・服薬の量や種類の変更時確認を行っている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	・新規契約時に聞き取りを行っている。	・まだ重篤な食物アレルギーの児童がいないので、もし利用になった場合には医師の指示書に基づき対応する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	・安全計画を作成し、社内研修で周知、当法人ホームページに記載している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	・新規契約時に地域避難場所を周知して ・地震時の対応についても書面周知している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・社内研修で共有し、再発防止策を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・マニュアルを整備し、社内研修で共有している。 ・必要に応じてミーティングを開催している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	・マニュアルを整備し、社内研修で共有している。 ・必要に応じて個別支援計画書に記載し、説明している。		